



早稲田大学
WASEDA University



武汉大学
WUHAN UNIVERSITY

早稲田大学・武汉大学第5回共催シンポジウム

80 Years after the War: Rethinking Sino-Japanese Relations

戦後80年で考える日中関係

二战后80年视野下的中日关系

パンフレット

2025年1月10日



CONTENT 目録

01	/ 開催趣旨	1
02	/ プログラム	2
03	/ 参加者紹介	5
04	/ 報告要旨	16
05	/ 附録	21

■ 早稲田大学・武漢大学第5回シンポジウムの趣旨

2025年は戦後80年を迎える。戦後の日中関係を貫くテーマの一つは、敵対した歴史を如何に乗り越えるのかということであった。日本と中国は共有する豊富な歴史的遺産を継承しつつ、新しい関係を模索してきたが、中国が第2位の経済大国に成長した今日、両国関係が重大な転換期を迎えている。本シンポジウムは、80年前から始まった両国関係再構築の試みを振り返り、戦後の日中関係史像を描き、未来の日中関係を展望したい。

【プログラム】

戦後80年で考える日中関係

プログラム



13:00-13:20 ◆開会式◆

全体司会

陳 璐 早稲田大学社会科学総合学術院准教授

【開会の挨拶】

登壇者

林 泉 忠 武漢大学国際問題研究院教授

武漢大学日本研究センター執行長

佐藤洋一 早稲田大学社会科学総合学術院院長

【共催シンポジウムの歩み】

登壇者

早 田 宰 早稲田大学社会科学総合学術院教授

【第5回シンポ趣旨】

登壇者

劉 傑 早稲田大学社会科学総合学術院教授

東アジア国際関係研究所所長

13:40-14:40 ◆セッションI：戦後日中関係の転換◆

講演者

劉 傑 早稲田大学社会科学総合学術院教授

東アジア国際関係研究所所長

日中関係の構造的転換

林 泉 忠 武漢大学国際問題研究院教授

武漢大学日本研究センター執行長

「国力逆転症候群」

——「中国台頭」期における日中衝突現象はどう説明するのか

コメンテーター

阿部和美 二松学舎大学国際政治経済学部講師

14:40-15:00 ◆休憩◆

15:00-16:00 ◆セッションII：戦後日中関係の中の教育と研究◆

講演者

鄭 成 兵庫県立大学環境人間学部教授
戦後東アジアの歴史をめぐる日中両国の歴史教育
——歴史的想像力の育成

盛 福 剛 武漢大学哲学学院准教授
戦後中日マルクス・エンゲルス研究の異同について
——人間主義と疎外論に関する論争を中心として

コメンテーター

牟 倫 海 武漢大学歴史学院准教授

16:00-16:15 ◆閉会式◆

【閉会のあいさつ】

登壇者

牟 倫 海 武漢大学日本研究センター副執行長

山 田 満 早稲田大学社会科学総合学院教授